

会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）  
新日本スポーツ連盟

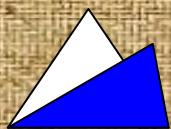
No. 222

2019年3月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



三島野スポーツクラブ



小木 清画

## 3月・4月企画案内

3/10 雪上訓練 in 利賀

4/14 弥彦山・多宝山

3/17 雪の上高地ハイク

4/21 大倉山

3/24・25

4/28 南保富士

自主企画

中央ア・木曾駒ヶ岳

山岳事故のイメージ変えよう  
遭難は普通の山で多発

# 3月/4月企画案内

## 残雪 芽吹き… 山笑う

### 3/10(日) 雪上訓練 in 利賀

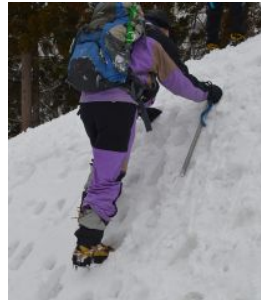
【集合・出発】8時00分 薬勝寺池 P

【訓練内容】

- ・アイゼン・カンジキの脱着と歩行の仕方
- ・雪面の急斜面のトラバース
- ・急斜面の登・下降 キックステップの練習
- ・ピッケルの持ち方と滑落制動

昼食後、旧スキー場を標高差 200m～300m登ります。

【参加申込】3月3日まで岩井富雄まで  
FAX 0766-57-8180 or SMS 090-5177-9255



昨年の訓練風景

2017年の上高地



### 3/17(日)

## 上高地 雪上ハイク

釜トンネルを抜けると白銀の世界

梓川と葉を落としたカラマツ、ケショウヤナギの梢の向こうの白い穂高連峰を仰ぐ

静かなたたずまいの雪の上高地が待っている

的場邦夫の自主企画

### 3/24(日)～25(月)

中央アルプス・千畳敷ホテル

## 木曾駒ヶ岳 2956m

【集合・出発】6時00分 薬勝寺池 P

【行程】釜トンネルから河童橋までを梓川沿いに左岸をいき、右岸から帰ります。

行動時間は約5時間。

【装備】防寒対策（ウェア、帽子、手袋、温飲料）ストック、カンジキ

【参加締切】3月7日まで堀井泰則へ

FAX 0766-25-2792 or SMS 090-1314-6394

（富山ウォーキングクラブと共催します）

早春の駒ヶ根からバスとロープウェーを乗継、いっきに2600m白銀の千畳敷カールへ。

3月末までの期間限定の「割安企画」を利用します。

雪山の装備〔ピッケル、アイゼン、防寒具〕必携

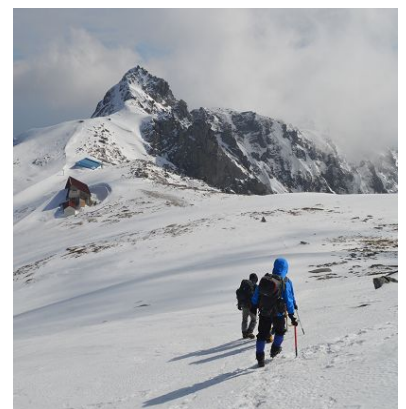
標高2600mのホテル前から雪面の千畳敷カールを登り乗越浄土2850mに。そこからなだらかな登りで中岳2925mに、さらに駒ヶ岳へ。

登り3時間15分 下り2時間30分

ホテル宿泊(山小屋ではありません)でリッチな気分と3000m級の雪の山岳のど真ん中を歩く山旅を楽しみましょう。

費用はホテル一泊二食・往復ロープウェー・バス代込みで10,500円と交通費、諸費約5,500円 計約16,000円

参加申込は3月14日までの的場邦夫へ SMS 090-4320-5325



前方に宝剣岳 2018年

# 4/14(日) 弥彦山 & 多宝山

新潟県弥彦村

634m

633.7m

登山口弥彦神社は遅咲きの桜が見頃。山頂に弥彦神社奥の院があり、360度の展望。さらに多宝山へ。カタクリの大群落が迎えてくれます。

**【集合・出発】** 5時00分 薬勝寺池 P  
**【行程】** 北陸自動車道 燕三条 IC ⇨ 弥彦神社 ⇨ 登山口 ⇨ 弥彦山 ⇨ 多宝山 ⇨ 登山口 ⇨ 弥彦温泉 〆し、帰路へ ⇨ 18時30分帰着予定  
 登り標高差 約600m 多宝山へ  
 体力度・技術度とも ★☆☆☆☆ 〈L〉堀井泰則  
**【参加申込】** 4月4日まで堀井泰則まで  
 FAX 0766-25-2792 SMS 0901314-6394 へ

越後平野から



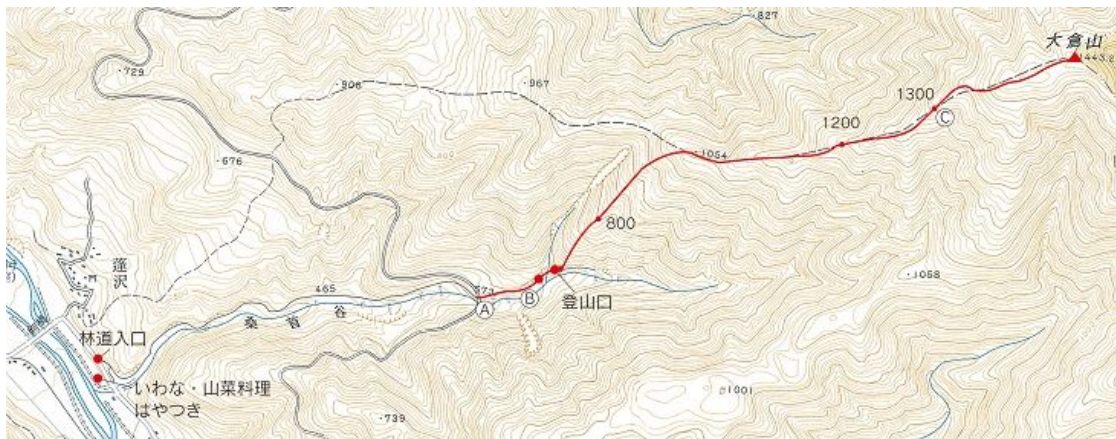
# 4/21(日) 大倉山

上市町/魚津市

1443m

早月川河畔の孤高の山 劔岳・毛勝三山の展望がよい

標高差 869m 登り4時間 下り3時間 体力度★★★★☆ 技術度★★☆☆☆  
 1200m付近より残雪のある登山道となる。(詳細は次号会報で案内します)



# 4/28(日) 南保富士

朝日町

727m

山頂からの展望がよい。  
 富山湾から能登半島、親不知の複雑な海岸線が一望でき、黒部川扇状地の田植え前の水をたたえたこの季節ならの景観が俯瞰できる。

標高差 460m  
 歩行時間ゆっくり3時間  
 七重滝へ足を伸ばすことも可  
 体力度 ★☆☆☆☆ 技術度 ★☆☆☆☆

山頂の地蔵



七重滝

# 山岳事故のイメージ変えよう

## 遭難は普通の山で多発

青山千彰

### シンポジウムで研究者が警鐘

山岳事故は安全と思える場所で多発している——。増え続ける遭難を減らすため、研究者がこんな実態を報告し、警鐘を鳴らしています。

神戸市灘区で2月2日に開かれた登山計画をテーマにしたシンポジウムで、関西大学の青山千彰名誉教授が問題提起したものです。

シンポジウム会場の背後に広がる六甲山域（最高峰 931m）は、ロープウェーやケーブルで気軽に登ることができ、山上にはホテルなどの施設なども整う観光地です。人気山域だけに事故も多発しています。死亡事故も含めて20～30件起きています。

遭難防止のために登山計画書の提出が呼びかけられていますが、出す人はまれです。多くの人は“この程度の山で大事故なんか起きないから、計画書なんていらぬ”と思っているからです。

#### マスコミの影響

人々が“事故が起きない”と考える原因は「マスコミの影響が大きい」と青山さん。報道では、雪崩や悪天候による大規模遭難や急斜面からの転落、海外での登山者の事故などメディア側の山岳遭難のイメージと合致するものが大きく扱われます。一方、六甲などで小さな事故は新聞には載りません。それが、“なだらかで安全な山だから事故は起きない”という固定観念によるものだと推測します。

では、実際の遭難はどうか。山岳団体の事故データ 3400 人分、230 万項目を分析したところ、「多くの人が思っている常識とは違った結果」になったことを紹介しました。

事故時の天候は 75%が晴れか曇り、霧や雪、吹雪は 15%しかありません。場所は雪や岩でなく登山道がほとんどで、土や草、しっかりした岩など一般的な斜面が大半でした。ともに事故が起こりそうもない環境でした。

しかも転倒・滑落の事故は「ちょっと引っかかった」「バランスを崩した」という登山者のミスによるものに集中しています。標高は 2000 未満が 81%、傾斜も 30 度未満が大部分を占めるなど、決してけわしい山ではありません。

#### 4分の3行程で

もう一つの大きな特徴は、事故が全行程の4分の3行程で多発していることです。天候や場所が要因なら特定の時間帯に集中することなく、疲労なら最終行程で起こるはず。これは気の緩みで集中力が欠けるなど登山者の要因が大きく影響しているからだと考えられます。

厳しい環境下なら注意して行動したり、登山を控えたりするため、むしろ事故は少ない。大部分の山岳遭難は何でもない登山道で、景色やほかの関心事に気を取られて木の根につまづく——といった登山者の失敗が引き金になっているのです。

危険だというイメージがあれば登山者は予防措置を取ろうとします。「クマザサの下にマムシがいっぱいいるとなると注意するし、情報も集めようとする」と青山さん。

増え続ける山岳遭難を減らすには、「メディアや山岳団体が協力して、事故はごく普通の山で起きているというイメージを定着することが第一歩」だと訴えます。

（この項「しんぶん赤旗」2月21日付けより転載 岩井富雄）

### 青山千彰（あおやま ちあき）

関西大学総合情報学部教授

1949年徳島県生まれ。関西大学土木工学科卒業後、97年総合情報学部教授となる。専攻は危機情報論。主に山岳遭難を研究し、道迷い問題や空間認知能力をはじめとしてさまざまな山岳遭難事故の分析と対策に取り組む。国際山岳連盟委員、日本山岳協会遭対副委員長、IMSARJ会長、日本山岳文化学会理事、労山顧問等を務める。著書に「山岳遭難の構図—すべての事故には理由がある」など。

## 世話人会より

- 世話人会開催会場の有料化について  
中太閤山コミュニティーセンターを当クラブ顧問の山田格さんのご配慮で無料で利用してきましたが、射水市の方針で4月より有料になります。
- 日常的に訓練の場として利用している山(二上山・尖山・頼成山)に登るときは計画書が提出されていなくても、「今日登ります」の連絡があれば、万一の事故での労山特別基金支給の対象になります。
- 労山北信越ブロックの定例の交流会は、十月五日～六日・立山山麓で行うことが決定。三島野S.Cの年間計画に組み込むことになります。
- 労山富山県連の定期総会が3月7日に行われます。理事として岩井・荒井両氏に引き続き留任してもらう予定です。
- 労山機関誌に三島野スポーツクラブの紹介が、カラー2ページで紹介されることになり、記事を堀井氏に担当してもらうことになりました。
- クラブの小旗を新規作成することになりました。只今作成依頼中。
- 新規入会1名。入会の問い合わせが2名あります。新会員大歓迎！

### 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
会計担当	荒井 英治	射水市上野 465		080-8695-6639
会報担当	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
事務局	小坪 哲彦	射水市中太閤山 5-59	56-3028	090-4684-4198

世話人会は上記の方々と、川渕 順正、林 憲彦、山本 則夫、岩越 理代、加藤日出子、甲 厚子、塚 良昭、新田俊明で構成します。 [相談役] 山田 格 [監事] 上田 千秋、竹内 啓子  
3月の世話人会開催は**3月5日(火)**と**3月19日(火)**の午後7時からです  
会場は中太閤山コミュニティーセンターです。

## 編集後記

- ◇ 労山機関誌1月号から3月号で“ことしこそ雪山へ”“冬でも快適 避難小屋”“いま(残雪期)しか行けない山”雪山を登り、楽しむ特集が連載されました。当クラブでも3月からGWまでの期間に残雪を踏んで峰に立ち、雪の山なみを展望する楽しみの企画が紹介されています。まず訓練に参加してみましょう。
- ◇ 今冬は暖かすぎる。こんな雪の無い生活は生まれて初めてです。立山室堂でも例年より少ない積雪だとか…。北極の氷が融け、ヒマラヤやヨーロッパアルプスの氷河が痩せている。いったん壊れた自然を元に戻すことはほとんど不可能です。自然を後世に残していく使命を自然の中で豊かな営みをし、活力を得ている私たちが担っていると思います。
- ◇ 水泳の池江璃花子選手の白血病のニュースはショッキングでした。世界のトップレベルの活躍をしていただだけに衝撃的でした。回復を祈ることしかできません。ただオリンピック担当大臣の「残念、メダルが減る」みたいな印象のコメントをニュースで聞いたとき、また、国会で「オリンピック憲章は読んだことはない」と恥ずかしげもなく答弁する姿に、スポーツを理解しない人をオリンピック担当大臣にすえるこの国を恥ずかしく思ったのは私だけだろうか。

会報についてのご意見などお寄せください。山の出来事の面白い話も。

堀井まで [E メールアドレス horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp)

FAX & ☎ 0766-25-2792 携帯 090-1314-6394

ネットで会報の閲覧ができます。〔三島野スポーツクラブ〕を検索し、〔会報〕をクリックするとこれまでの発行済みの会報が全頁フルカラーで見ることができます。